

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 廃棄物処理費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

・浜松市全域のごみを効率的に処理するために施設整備を図るとともに、下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理計画区域外において、適正な汚水処理を目指し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
 ・一般廃棄物を適正に処理し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
 ・浜松市の一般廃棄物を安全・安定的な処理を継続するため、新しいごみ処理施設を整備する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	2,372,029	4,404,653
決算	2,408,984	
人件費(A)	230,400	285,200
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,639,384	4,689,853

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
新清掃工場建設の進捗率	%	100	目標	2	2
			実績	1	
し尿処理施設の長寿命化の進捗率	%	100	目標	8	42
			実績	12.1	
不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールの実施率	%	-	目標	95	100
			実績	100	

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

・浜松市全域のごみを効率的に処理するために施設整備を図るとともに、下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理計画区域外において、適正な汚水処理を目指し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
 ・一般廃棄物を適正に処理し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
 ・浜松市の一般廃棄物を安全・安定的な処理を継続するため、新しいごみ処理施設を整備する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

- ・新清掃工場整備事業の全体スケジュール見直しを行い、H33年4月供用開始から平成36年4月供用開始スケジュールへと変更した。
- ・東部及び西部衛生工場の長寿命化に係る整備工事を計画通り進めた。
- ・持ち去り行為については、パトロール等によって件数が減少したが、特定の行為者が繰り返している。
- ・平成29年度からの収集運搬委託について、18地域から8地域に変更する検討をした。
- ・鍛冶町公衆便所を廃止して、売却のため中区まちづくり課に移管した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	収集業務管理事業			○		211,173	170,573	5.0			2.0	
2	西部清掃工場運営事業					1,058,970	1,047,770	1.6				
3	衛生工場運営事業			○	○	1,321,454	1,271,654	5.2	3.0	1.0		
4	ごみ処理施設整備事業					18,311	15,511	0.4				
5	新清掃工場整備事業			○	○	471,095	416,995	6.7	2.0			
6	旧ごみ処理施設管理事業					660,059	644,659	2.2				
7	北部収集窓口センター事業					881,649	832,649	7.0				
8	一般廃棄物処理施設整備事業 基金積立金					1,702	1,002	0.1				
9	廃棄物処理運営経費(一般諸 経費のみ)					65,440	3,840	8.8				
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						4,689,853	4,404,653	37.0	5.0	1.0	2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 収集業務管理事業

◇事業目的・事業対象

安全、衛生的な地域環境を維持していくために、環境美化活動を推進する。

◇事業の概要

- ・不法投棄撲滅に向けて、庁内関係各課と連携を図り監視パトロールや防止看板の配布等を行う。
- ・住環境を良好に保つため、路上等における犬、猫などの小動物の死体を回収する。
- ・家庭系廃棄物等の収集又は運搬(持ち去り)の禁止対策のためパトロール等を行う。
- ・ペットボトルとプラスチック製容器包装や特定品目を中間処理して、再資源化を行う。
- ・鍛冶町公衆便所の維持管理をするとともに平成27年度中に廃止・閉鎖する。

【重点戦略No.63】

- ・家庭ごみ収集運搬業務委託の内容を検証・分析し、地域特性や処理施設の配置計画等を考慮した効率的な業務内容となるよう見直しを行う。
- ※家庭ごみ収集運搬業務委託債務負担の設定(平成29年～32年度分)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	○	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	165,493	170,573
	決算	160,244	
	国・県支出		
	市債		
	その他	79,322	78,900
	一般財源	80,922	91,673
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		40,600	40,600
人工	正規	5.0	5.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	2.0	2.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
家庭ごみ収集運搬業務委託内容の見直し				—	63
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	実施	継続運用	継続運用		
実績値	実施				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
地域事情を考慮した家庭ごみ収集回数及び収集方法の見直し				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	—	—			実施
実績値	—				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・不法投棄撲滅に向けて、庁内関係各課と連携を図り監視パトロールや防止看板の配布等を行った。
 ・住環境を良好に保つため、路上等における犬、猫などの小動物の死体を回収した。
 ・家庭系廃棄物等の収集又は運搬(持ち去り)の禁止対策のためパトロール等を行った。
 ・ペットボトルとプラスチック製容器包装や特定品目を中間処理して、再資源化を行った。
 ・鍛冶町公衆便所の維持管理をするとともに平成27年度中に廃止・閉鎖した。また、売却のため中区まちづくり課に移管した。

【重点戦略No.63】

・家庭ごみ収集運搬業務委託の内容を検証・分析し、地域特性や処理施設の配置計画等を考慮した効率的な業務内容となるよう見直しを行った。
 ※家庭ごみ収集運搬業務委託債務負担の設定(平成29年～32年度分)

・事業の成果と課題

指標の達成度

持ち去り行為については、パトロール等によって件数は減少しているが、特定の行為者が繰り返し行っている。また、浜松市には拘束する権限が認められていないため逃げられてしまうことがある。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度からの収集運搬委託について、18地域から8地域に変更する検討をした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年度からの収集運搬委託について、18地域から8地域に変更して入札を行う。
 人件費の上昇により事業費は拡大するが、上記の対応により18地域のままで委託するより設計額が縮小する見込みである。

・事業の分類

大分類 細分類

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 01 01510000 01

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 収集業務管理事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
66	・家庭ごみ収集運搬業務委託の見直し(H29～H32分)	・各清掃事業所による家庭ごみ収集委託に係る債務負担の設定(H29～H32)及び入札	・家庭ごみ収集運搬業務委託の開始	
〇〇				

事業シート (事業名) 西部清掃工場運営事業

◇事業目的・事業対象

西部清掃工場の適正な運営・維持管理

◇事業の概要

対象施設: 西部清掃工場

- ・平成21年2月稼動し、PFI手法(DBO方式)により、民間委託
- ・処理対象物: 可燃ごみ、他工場焼却灰、下水污泥等
- ・処理対象物をスラグ、精製塩やミックスメタルに再資源化し、最終処分場の延命化に貢献
- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)へ蒸気とごみ発電による電気を安定供給
- ・湖西市の可燃ごみの処理委託

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	H35	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,038,718	1,047,770
	決算	984,308	
	国・県支出		
	市債		
	その他	763,992	700,114
	一般財源	220,316	347,656
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		11,900	11,200
人工	正規	1.7	1.6
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
可燃ごみの適正処理量の累計値(t)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	121,000	242,000	484,000		-
実績値	130,377				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
ごみ発電出力の累計値(MWh)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	36	72	144		-
実績値	46				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
					66
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

対象施設:西部清掃工場

- ・平成21年2月稼動し、PFI手法(DBO方式)により、民間委託
- ・処理対象物:可燃ごみ、他工場焼却灰、下水汚泥等
- ・処理対象物をスラグ、精製塩やミックスメタルに再資源化し、最終処分場の延命化に貢献
- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)へ蒸気とごみ発電による電気を安定供給
- ・湖西市の可燃ごみの処理委託

・事業の成果と課題

指標の達成度

焼却施設の運転維持管理を、PFIにより完全民間委託化して実施した。
運営・維持管理委託契約に基づき、モニタリングを実施し、適正な維持管理を継続している。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

焼却施設の運転維持管理を、PFI手法による完全民間委託により実施した。
運営・維持管理委託契約に基づき、モニタリングを実施し、適正な維持管理を継続している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

PFI手法により民間委託化していることから、引き続き適切な施設維持管理に努める。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 衛生工場運営事業

◇事業目的・事業対象

・市域の公共下水道未使用の家庭及び事業所から排出されるし尿及び浄化槽汚泥を適正処理し、環境負荷の低減を進める。
 ・強靱なし尿処理体制を確立するため、現なし尿処理施設の統廃合を見据えた改修工事と予防保全により、施設を長寿命化することで、安定的な処理体制の構築と維持管理コストの削減を図る。

◇事業の概要

- ①衛生工場維持管理事業
- ・稼働中のし尿処理施設は4施設。処理工程で発生する汚泥を、乾燥し肥料として農地還元する。
 - ・西部衛生工場では、前処理設備でし渣を除去し、希釈調整して下水道放流する。
 - ・休止中の浜北クリーンセンターは、大規模災害時の一時貯留施設として位置づけ維持管理する。
 - ・東部衛生工場の運営維持管理に係る包括的外部委託化を進める。
- ②【重点戦略項目No.66】 ■衛生工場運営事業
- ・浜松市衛生施設長寿命化計画に基づき施設を改修し、強靱なし尿処理体制を確立する。
 - ・これまでの事後保全体制から、予防保全体制とすることで、求められる性能水準を保つ。
 - ・機器の更新や水槽等のRC構造物の経年劣化に対して補強や防食等の対策を行い、施設の長寿命化を図る。
 - ・東部衛生工場と西部衛生工場の長寿命化工事を実施したのちに、大規模災害時の一時貯留施設を視野に入れた施設の統廃合を行い、安定的な処理体制の構築と維持管理コストの削減を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S56	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	869,891	1,271,654
	決算	843,075	
	国・県支出		
	市債		
	その他		632,000
	一般財源	843,075	639,654
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		71,400	49,800
人工	正規	7.6	5.2
	再任用(h31)	2.0	3.0
	再任用(h26)	1.0	1.0
	非常勤	3.0	

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
運営維持管理に係る包括的外部委託化(施設数)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	0	1	1		2
実績値	0	1			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
長寿命化計画に基づく施設整備の進捗率(%)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	8	42	78	82	100
実績値	12.6				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
東部衛生工場長寿命化工事進捗率(%)				—	66
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	12.4	56.2	達成(H29)		—
実績値	12.4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①衛生工場維持管理事業

- ・稼働中のし尿処理施設は4施設。処理工程で発生する汚泥を、乾燥し肥料として農地還元する。
- ・西部衛生工場では、前処理設備でし渣を除去し、希釈調整して下水道放流する。
- ・休止中の浜北クリーンセンターは、大規模災害時の一時貯留施設として位置づけ維持管理する。
- ・東部衛生工場及び西部衛生工場の運営維持管理に係る包括的外部委託化を進める。

②【重点戦略項目No.66】(新規)衛生工場長寿命化事業

- ・浜松市衛生施設長寿命化計画に基づき施設を改修し、強靱なし尿処理体制を確立する。
- ・これまでの事後保全体制から、予防保全体制とすることで、求められる性能水準を保つ。
- ・機器の更新や水槽等のRC構造物の経年劣化に対して補強や防食等の対策を行い、施設の長寿命化を図る。
- ・東部衛生工場と西部衛生工場の長寿命化工事を実施したのちに、大規模災害時の一時貯留施設を視野に入れた施設の統廃合を行い、安定的な処理体制の構築と維持管理コストの削減を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・市域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。
- ・東部及び西部衛生工場の長寿命化に係る整備工事を計画通り実施した。
- ・平成28年度からの西部衛生工場の包括外部委託運営に向け準備をした。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。
- ・東部及び西部衛生工場の長寿命化に係る整備工事を計画通り実施した。
- ・平成28年度からの西部衛生工場の包括外部委託運営に向け準備をした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・東部及び西部衛生工場の長寿命化工事を適正に行う。
- ・西部衛生工場の包括的外部委託運営に伴い、職員の常駐をやめる。
- ・し尿処理施設の統廃合として、細江し尿処理センター及び天竜衛生センターの休止に向けた準備を行う。

・事業の分類

大分類 細分類

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 01 01510000 03

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 衛生工場運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
66	<ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場 B系列リニューアル工事 ・西部衛生工場 し尿投入槽整備工事 シーケンサ更新工事 沈殿槽整備工事 苛性ソーダ貯留槽更新工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場 B系列リニューアル工事 ・西部衛生工場 浄化投入槽整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・東部衛生工場 B系列リニューアル工事(完了) ・西部衛生工場 沈砂槽整備工事 水洗浄塔整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・西部衛生工場 分離液槽整備工事 アルカリ洗浄塔整備工事
〇〇				

事業シート (事業名) ごみ処理施設整備事業

◇事業目的・事業対象

ごみ計量システムの適正な維持管理

◇事業の概要

①現 計量システムの運営

- ・市内の廃棄物処理施設の計量機で得られるデータをネットワークで結び、計量データを管理する。
- ・計量データは、一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料などで利用する。
- ・現計量システムは平成28年度から2年間の再賃貸借契約での運用とする。

②新 計量システムの構築

- ・賃貸借契約終了に伴う新計量システムの供用開始(平成30年度)に向け、現行システムと同等以上のシステムを構築するための準備を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	32,740	15,511
	決算	32,648	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	32,648	15,511
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		1,400	2,800
人工	正規	0.2	0.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
新計量システム構築の進捗率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	0.2	50	100		—
実績値	0.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
					65
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
					65
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 01 01510000

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①現 計量システムの運営

- ・市内の廃棄物処理施設の計量機で得られるデータをネットワークで結び、計量データを管理する。
- ・計量データは、一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料などで利用する。
- ・現計量システムは平成27年度末まで賃貸借契約で運用しており、平成28年度以降は再賃貸借等の運用とする。

②新 計量システムの構築

- ・システムの老朽化に伴い、現行システムと同等以上のシステムを構築する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

【成果】

- ・現計量システムの適切な運用を図り、安定的なごみ処理に貢献した。
- ・現計量システムの平成28年度からの再賃貸借契約について、方針を決定し予算に計上した。
- ・新計量システムの構築について今後の方針を決定した。

【課題】

- ・新計量システム稼働に向け、システム構築を行う。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新規賃貸借でなく再賃貸借とした。
- ・市内11か所のうち不要となった1か所のシステムを廃止することにより、コスト削減ができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成29年3月の再賃貸借契約の終了に伴い、以下のように新計量システム(以下「システム」という。)の構築・運用を進める。

平成28年度 システム開発の仕様書作成
平成29年度 システムシステム構築、試運転
平成30年度 システム供用開始予定

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 新清掃工場整備事業

◇事業目的・事業対象

浜松市の一般廃棄物を安全・安定的に処理するため、新しいごみ処理施設を整備する。

◇事業の概要

【重点戦略項目No65】
 新清掃工場の建設準備
 ・施設基本計画に基づき、敷地造成の詳細設計を進める。
 ・環境影響評価における準備書の作成を行う。
 ・PFI事業者募集に向け、要求水準書を作成する。
 ・搬入道路及び構内道路整備に向け、設計・調査・測量を進める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	H35	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	231,850	416,995
	決算	359,592	
	国・県支出	133,467	
	市債	190,400	85,200
	その他	20,000	220,000
	一般財源	15,725	111,795
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		46,640	54,100
人工	正規	6.2	6.7
	再任用(h31)	0.9	2.0
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
新清掃工場建設の進捗率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2	2			100
実績値	1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
施設建設による環境への影響調査進捗率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	68	83	100		-
実績値	45				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
施設の建設と運営を行う民間事業者の選定事業進捗率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	32	89	100		-
実績値	36				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 01 01510000

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No65】

新清掃工場の建設準備 [決算359,592千円 (うち前年度繰越133,042千円)]

- ・環境影響評価における現地調査を行う。
- ・PFI事業者募集に向け、要求水準書を作成する。
- ・搬入道路整備に向け、測量・設計を進める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・新清掃工場整備事業の全体スケジュール見直しを行い、H33年4月供用開始から平成36年4月供用開始スケジュールへと変更した。
- ・PFI事業はH27年10月21日にアドバイザー事業者と業務契約を締結し、要求水準書作成のための見積等調査を実施。
- ・環境影響評価は準備書の作成に向け、平成28年8月まで現地調査を実施中。
- ・搬入道路整備に向け、県道熊小松天竜川停車場線、市道天竜紙板線、市道天竜紙板南線、市道天竜小堀谷紙板線の道路予備設計、道路詳細設計、用地調査、地質調査などを実施した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 正規職員 / 事業費 拡大 人工 拡大

- ・新清掃工場整備事業の全体スケジュールの見直しを行い、事業を進めた。
- ・新清掃工場整備事業の進捗に伴い、業務が増加したため、予算事務担当の職員を設置し、業務の効率化を図った。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 正規職員 事業費 拡大 人工 拡大

- ・民活手法を最大限に利用し、より経済的で質の高い新清掃工場を建設するため情報収集・分析を行う。
- ・新清掃工場整備事業の進捗に伴い、業務が増加するため、適正な人工に拡大する。

・事業の分類

大分類 ハード整備

細分類 工事・整備(建築)

平成28年度

(管理番号)

04 01 04 01 01510000 05

(担当課)

廃棄物処理課

(責任者)

苗村 英哉

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 新清掃工場整備事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
65	環境影響評価 PFIアドバイザー業務 アクセス道路測量 周辺道路測量設計調査	環境影響評価 PFIアドバイザー業務 敷地造成詳細設計 アクセス道路測量調査 周辺道路設計調査	環境影響評価(終了) PFIアドバイザー業務 (終了) アクセス道路設計調査 周辺道路測量設計調査 周辺道路工事	環境影響評価事後評価 PFIモニタリング業務 敷地造成工事 アクセス道路工事 周辺道路工事 プラント実施設計
〇〇				

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 01 01510000 05

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 新清掃工場整備事業

◇取組概要

浜松市の一般廃棄物を安全・安定的に処理する新しいごみ処理施設について、効果的・効率的な整備・運営を行うため、民間活力を導入する。

◇行財政改革の視点

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 4003

取組事項名 新清掃工場及び新破碎処理センターの施設整備

個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	計画値					
	実績値					
2	計画値					
	実績値					
3	計画値					
	実績値					
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

旧ごみ処理施設を適正に管理する。また、組織変更により引き継いだ、北部清掃工場を解体する。

◇事業の概要

- ① 旧焼却施設管理(舞阪町クリーンセンター、三ヶ日ごみ処理センター跡地)
 - ・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理
 - ・舞阪町クリーンセンターの解体の実施
- ② 旧最終処分場管理(静ヶ谷最終処分場、舞阪吹上第1廃棄物最終処分場)
 - ・静ヶ谷最終処分場内の環境等の調査と廃止に向けた検討
 - ・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理
- ③ 北部清掃工場解体
 - ・政策「環境に配慮した資源循環社会の構築」の北清掃事業所運営費からの引継ぎ

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	21,486	644,659
	決算	18,447	
	国・県支出	4,512	
	市債		
	その他		
	一般財源	13,935	644,659
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		8,400	15,400
人工	正規	1.2	2.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
舞阪町クリーンセンター解体の進捗率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1	20	100		—
実績値	1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
北部清掃工場の解体の進捗率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値		100			
実績値	24				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ① 旧焼却施設管理(舞阪町クリーンセンター、三ヶ日ごみ処理センター跡地)
・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理
・舞阪町クリーンセンターの解体の実施
- ② 旧最終処分場管理(静ヶ谷最終処分場、舞阪吹上第1廃棄物最終処分場)
・静ヶ谷最終処分場内の環境等の調査と廃止に向けた検討
・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

舞阪町クリーンセンターの解体に向け、一部の一般廃棄物の処理を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・旧焼却施設及び旧最終処分場の草刈等業務を定期的に実施したことで、不法投棄や放火などの未然防止ができた。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 拡大 人工 現状

- ・旧焼却施設及び旧最終処分場の草刈等業務を通じ、不法投棄や放火などの未然措置を行う。
- ・舞阪町クリーンセンターの解体の実施に向け、各種事前調査を行う。
- ・北部清掃工場の解体を適正に行う。

・事業の分類

大分類 維持管理運営

細分類 施設管理運営(建物)

事業シート (事業名) 北部収集窓口センター事業

◇事業目的・事業対象

北部収集窓口センター管轄内(中区、東区)の一般廃棄物について、生活環境の保全上支障が生じないように収集運搬を実施する。また、資源物のリサイクルを推進するため回収を実施する。
 また、北部収集窓口センターの所管業務を円滑に運営していくための経費。

◇事業の概要

- ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(中区、東区)
- ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び処理
- ・地域の環境美化活動による廃棄物の収集運搬
- ・ごみ集積所に関する相談、手続き
- ・ごみの出し方、分別等の相談受付
- ・古着、古紙類ほかの資源物回収事業
- ・各種啓発活動(出前講座ほか)
- ・北部収集窓口センターの管理運営
- ・北部収集窓口センターの予算、庶務等に関する一般事務。
- ・事業所内の清掃、設備点検等による安全な職場環境の形成。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和49年度		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		832,649
	決算		
	国・県支出		
	市債		
	その他		832,649
一般財源			
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			49,000
人工	正規		7.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
古着、古紙類の回収量(kg)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値		7000	3900		4500
実績値	6738				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 01 01510000

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・北清掃事業所(北部清掃工場)を廃止し、業務を他事業所に分散移転した。平成27年7月組織改正により、市民や自治会の窓口部門等を担う第2種事業所(北部収集窓口センター)を開設した。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・北部収集窓口センターについては、平成27年7月組織改正に伴い北清掃事業所から業務を分散移転し、その後、市民、自治会等への周知も進み順調に業務を遂行している。
・古紙古着などの資源物回収については、予想を上回る利用がある。今後はさらなる利用促進を図っていく。

・事業の分類

大分類 <input type="text"/> 事業推進 <input type="text"/>	細分類 <input type="text"/> 環境衛生 <input type="text"/>
--	--

事業シート (事業名) 一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金

◇事業目的・事業対象

廃棄物処理施設の建設等に係る資金の一部積立

◇事業の概要

基金積立の事務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	801	1,002
	決算	800	
	国・県支出		
	市債		
	その他	800	1,002
一般財源			
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 01 01510000

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

基金積立の事務

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

基金の積立を継続する。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 廃棄物処理運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

廃棄物処理課の運営経費

◇事業の概要

廃棄物処理運営事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	11,050	3,840
	決算	9,870	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	9,870	3,840
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		49,360	61,600
人工	正規	7.0	8.8
	再任用(h31)	0.1	
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 01 01510000

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

廃棄物処理運営事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

廃棄物処理課の運用に係る、必要な予算を執行した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

廃棄物処理課の運営を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

廃棄物処理課の運営を引き続き行っていく。

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 南清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

南部清掃工場の適正な運営維持管理をすることにより、市民の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	475,828	526,552
決算	444,811	
人件費(A)	356,400	351,100
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	801,211	877,652

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
焼却場の安定稼働日数	日	-	目標	364	363
			実績	364	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

南部清掃工場の適正な運営維持管理をすることにより、市民の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・南部清掃工場の適正な運営維持管理を行い、焼却場の運転について電気設備点検時の2日間を除き稼働することが出来た。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	ごみ焼却施設運営事業					817,330	510,330	39.8	4.0		5.0	
2	南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)					60,322	16,222	6.3				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						877,652	526,552	46.1	4.0		5.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) ごみ焼却施設運営事業

◇事業目的・事業対象

南部清掃工場の安全・安心なごみ焼却及び適正な運営維持管理を行う。

◇事業の概要

- ・南部清掃工場に搬入される可燃ごみを適正かつ効率的に処理するため、最新の公害防止・自動化・省エネシステムを導入し24時間運転する。
- ・燃烧ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分を電力会社へ売却し有効活用を図る。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行う。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和39年度	平成32年度	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	459,281	510,330
	決算	431,024	
	国・県支出		
	市債		
	その他	431,024	510,330
	一般財源		
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		310,900	307,000
人工	正規	40.7	39.8
	再任用(h31)	1.0	4.0
	再任用(h26)		
	非常勤	8.0	5.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
焼却場の安定稼働焼却量(118,000t)に対する安全率(%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	±5.00	±5.00			-
実績値	1.91				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
焼却場の安定稼働日数(日)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	364	363			-
実績値	364				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 02 01541000

(担当課)
南清掃事業所

(責任者)
水野 明人

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・南部清掃工場に搬入される可燃ごみを適正かつ効率的に処理するため、最新の公害防止・自動化・省エネシステムを導入し24時間運転する。
- ・燃烧ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分を電力会社へ売却し有効活用を図る。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行う。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・南部清掃工場に搬入された可燃ごみの120,257.92トンを焼却した。
- ・燃烧ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分(11,270,420kWh)を電力会社へ売却し有効活用を図った。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行った。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・南部清掃工場へ搬入された可燃ごみを適正かつ効率的に処理した。
- ・各設備の定期点検整備や適正な運営維持管理を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・当工場は平成35年度まで稼働する計画であるが、現業職員の新規採用がなく職員の確保が困難な状況となってきたため、平成29年度から業務の一部を委託化し、段階的な委託化計画を検討していく。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	16,547	16,222
	決算	13,787	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	13,787	16,222
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		45,500	44,100
人工	正規	6.5	6.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 02 01541000

(担当課)
南清掃事業所

(責任者)
水野 明人

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 運営経費(諸経費のみ)

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 平和清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

- 安全かつ効率的なごみ処理体制を確立するとともに最終処分場施設の適正な維持管理を行う。
- 埋立処分地の延命化を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	587,584	595,386
決算	583,634	
人件費(A)	89,760	90,000
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	673,394	685,386

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率	%		目標	15以上	15以上
			実績	17.4	
平和最終処分場第2期埋立進捗率	%	62	目標	37	40
			実績	37	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- 安全かつ効率的なごみ処理体制を確立するとともに最終処分場施設の適正な維持管理を行う。
- 埋立処分地の延命化を図る。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率は、平成26年度17.1%に対し平成27年度は17.4%と向上し目標値も上回ったことから順調に推移している。その結果、最終埋立処分量が抑制されることから埋立処分地の延命化に繋がるものである。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	不燃物等処理施設運営事業					391,305	367,905	2.5	0.5	0.5	1.0	
2	埋立処分場運営事業					238,936	211,436	2.5	0.5	1.0	2.0	
3	平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)					55,145	16,045	5.0		0.5	1.0	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						685,386	595,386	10.0	1.0	2.0	4.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 不燃物等処理施設運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物破碎処理施設を適正に運営維持管理することにより、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

◇事業の概要

- 不燃・連絡ごみを破碎しごみ減容化を図るとともに、排出される鉄・アルミ等の資源物を適正に再資源化する。
- 対象施設: 平和破碎処理センター
- 施設の運転管理及び設備保守点検等を実施する。
- 可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持するため改修工事等の施設整備を行う。
- 公害関係法令を遵守し、臭気、騒音、振動、排水等の公害対策を講じて基準値以下とする。

【新清掃工場破碎処理センターの平成36年度供用開始(見込)後に平和破碎処理センターは廃止する】

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
明治44年度		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	356,857	367,905
	決算	354,905	
	国・県支出		
	市債		
	その他	114,278	165,655
	一般財源	240,627	202,250
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		22,920	23,400
人工	正規	1.9	2.5
	再任用(h31)	1.0	0.5
	再任用(h26)	0.7	0.5
	非常勤	1.5	1.0

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率(%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15以上	15以上	15以上	15以上	
実績値	17.4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 03 01545000

(担当課)
平和清掃事業所

(責任者)
山中 信次

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

不燃・連絡ごみを破碎しごみ減容化を図るとともに、排出される鉄・アルミ等の資源物を適正に再資源化する。

○対象施設:平和破碎処理センター

○施設の運転管理及び設備保守点検等を実施する。

○可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持するため改修工事等の施設整備を行う。

○公害関係法令を遵守し、臭気、騒音、振動、排水等の公害対策を講じて基準値以下とする。

【新清掃工場破碎処理センターの平成36年度供用開始(見込)後に平和破碎処理センターは廃止する】

・事業の成果と課題

指標の達成度

・不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率は、磁性鉄15.7%、アルミ1.7%、計17.4%と、目標値15%以上を達成することができた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・破碎処理センターの破碎・選別機能を維持するための整備工事や適正な保守点検等の実施により、可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・施設機能を維持するための整備工事や修繕等の投資と廃止を見据えた必要最小限の施設維持管理の両立が必要である。
・臭気軽減に向けた一層の臭気対策が求められている。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地を適正に運営維持管理することにより、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

◇事業の概要

- 対象施設: ①平和最終処分場及び浸出水処理施設
- ②引佐最終処分場及び浸出水処理施設
- ③舞阪吹上第2廃棄物最終処分場

○最終処分場の適正管理を行う。

○西部清掃工場から排出される溶融飛灰固化物等及び平和破碎処理センターから排出される破碎不燃ごみや土砂・がれき等の破碎処理困難物を平和最終処分場に適正に埋立処分を行う。

○平和及び引佐の最終処分場埋立地に浸透した雨水を公共用水域に放流するため、浸出水処理施設において水質基準を満たすよう適正に処理する。

○埋立処分及び維持管理に伴う臭気、騒音、ダイオキシン、水質等の環境測定や検査を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	209,187	211,436
	決算	208,172	
	国・県支出		
	市債		
	その他	50,000	50,000
	一般財源	158,172	161,436
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		23,680	27,500
人工	正規	2.3	2.5
	再任用(h31)	0.4	0.5
	再任用(h26)	0.1	1.0
	非常勤	2.1	2.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
平和最終処分場第2期埋立進捗率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	37	40	46	48	62
実績値	37				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 対象施設:①平和最終処分場及び浸出水処理施設
②引佐最終処分場及び浸出水処理施設
③舞阪吹上第2廃棄物最終処分場

○最終処分場の適正管理を行う。

○西部清掃工場から排出される溶融飛灰固化物等及び平和破碎処理センターから排出される破碎不燃ごみや土砂・がれき等の破碎処理困難物を平和最終処分場に適正に埋立処分を行う。

○平和及び引佐の最終処分場埋立地に浸透した雨水を公共用水域に放流するため、浸出水処理施設において水質基準を満たすよう適正に処理する。

○埋立処分及び維持管理に伴う臭気、騒音、ダイオキシン、水質等の環境測定や検査を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・平和最終処分場第2期埋立容量567,700m³に対し、平成27年度末埋立地残余容量358,747m³となり、埋立進捗率37%の目標値以下をクリアすることができた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ごみ減量、資源化への推進活動に加え、平和破碎処理センターの不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率が目標値を上回り、その結果、最終埋立処分量が抑制され、平和最終処分場第2期埋立進捗率37%の目標値を上回ることなく計画通り実施することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平和最終処分場(第2期)は、約20年後に埋立終了見込みであるが、さらに施設の延命化を図る。
・平和最終処分場の浸出水処理施設運転管理業務委託を包括的業務委託への転換が可能か検討が必要である。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	21,540	16,045
	決算	20,557	
	国・県支出		
	市債		
	その他	739	108
	一般財源	19,818	15,937
	一般会計繰入金		
	人件費(報酬等) (千円)		
	人件費 (千円)	43,160	39,100
人工	正規	5.2	5.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	1.2	0.5
	非常勤	1.3	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 03 01545000

(担当課)
平和清掃事業所

(責任者)
山中 信次

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・最終処分場や破碎処理センターの活動内容等を広く市民に理解してもらうため、施設見学や出前講座を積極的に実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の縮小や廃止は困難であるが、事務の見直しにより一層の合理化を目指す。

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 浜北環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

浜北清掃センターの新清掃工場の稼働後の解体を視野に入れ、その上で災害時におけるバックアップ施設としての在り方を検討する。その間、必要最小限度の維持管理を行う。
浜北環境センターの保全協定に基づく使用期限の延長について、地元町内会との協議を行う。併せて、環境保全のための適切な施設の運転管理を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	46,369	46,232
決算	44,191	
人件費(A)	10,360	6,860
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	54,551	53,092

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
最終処分量率(%) (実績値/目標値) 指標値としては実績値が目標値を下回することで	%	530	目標	530	530
			実績	358	
90t炉・40t炉の解体及びごみ集積地としての整備並びに仮設炉施設地の整備	%	100	目標	-	-
			実績	-	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

浜北清掃センターの新清掃工場の稼働後の解体を視野に入れ、その上で災害時におけるバックアップ施設としての在り方を検討する。その間、必要最小限度の維持管理を行う。
浜北環境センターの保全協定に基づく使用期限の延長について、地元町内会との協議を行う。併せて、環境保全のための適切な施設の運転管理を行う。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

新清掃工場の稼働時期までは、必要最小限の維持管理を行う方針のもと、契約電力の見直し等実施することで、電気料の削減をすることができた。

浜北環境センター(灰木最終処分場)の埋立については、現在、浜北区内の道路側溝汚泥と浜北区内の火災残材以外は埋立処分を行っていない。

平成27年度は火災残材の埋立処分もなく、埋立量は目標値の67.5%に抑えることができた。目標値に対する達成率は、148%となる。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	旧ごみ処理施設管理事業					11,055	8,395	0.3			0.2	
2	埋立処分場運営事業					42,037	37,837	0.6				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						53,092	46,232	0.9			0.2	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

ごみ処理施設の休止に伴う適正な維持管理

◇事業の概要

- ・休止施設の適正な維持管理
- ・新清掃工場稼働までの災害時バックアップ施設として必要最小限の維持管理
- ・稼働後には、できるだけ速やかに解体をし、災害時の収集拠点としての整備

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和49年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	9,558	8,395
	決算	7,646	
	国・県支出		
	市債		
	その他	21	24
	一般財源	7,625	8,371
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		6,160	2,660
人工	正規	0.8	0.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	0.2	0.2

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
90t炉・40t炉の解体整地(%)				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	—	—			100
実績値	—	—			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 04 01547000

(担当課)
浜北環境事業所

(責任者)
河合 信義

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・休止施設の適正な維持管理
- ・新清掃工場稼働までの災害時バックアップ施設として必要最小限の維持管理
- ・稼働後には、できるだけ速やかに解体をし、災害時の収集拠点としての整備

・事業の成果と課題

指標の達成度

新清掃工場稼働までの旧ごみ処理施設の管理運営事業については、必要最小限度の維持管理を行っている。
新清掃工場稼働までは、現在の状況を維持する必要がある。そのため、解体整地及び整備は進捗していない。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

電気使用量の見直し、削減により、使用料を削減した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設の維持管理にあたり、意思決定を伴う業務について正規職員が担当し、その他については再任用職員が実施するように図っていく。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地施設の適正な運営維持管理

◇事業の概要

- ・埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理
- ・廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定に基づく基準の遵守と環境保全
- ・地元との環境保全協定の期間満了による使用期限延長についての協議

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成14年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	容器包装リサイクル法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	36,811	37,837
	決算	36,545	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	36,545	37,837
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		4,200	4,200
人工	正規	0.6	0.6
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
埋立量率(%) (実績値/目標値) 目標値を実績値が下回ることで達成				—	—
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	530				530
実績値	358				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 04 01547000

(担当課)
浜北環境事業所

(責任者)
河合 信義

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理
- 廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定に基づく基準の遵守と環境保全
- 地元との環境保全協定の期間満了による使用期限延長についての協議

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成27年度は火災残材の受入もなく、埋立処分は地域住民の清掃奉仕活動に伴う道路側溝汚泥のみの搬入であり、目標量の67.5%以下に抑えることができた。達成率では148%となる。(実績値/目標値)
浸出水処理結果については、すべて基準内であり、環境への影響は認められない。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

建設後14年が経過し、設備機器類が老朽化し、修理・補修維持費用が増大している。処分用の運営については平成25年度から委託化を実施している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

地元との環境保全協定に基づき、本処分場の使用期限は平成29年3月31日までとなっている。
使用期限の延長については、平成28年9月30日までに地元との合意が必要となる。
本処分場建設時の地元との約束であった公民館建設の補助事業については、灰木町内会の活動場所として、平成28年3月24日付け、浜北環境センター施設の一部を利用する覚書を締結した。

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 天竜環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体を実施する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	10,846	35,468
決算	10,145	
人件費(A)	14,000	7,000
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	24,145	42,468

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
ごみ処理施設の解体整地(%)	%	40	目標	-	-
			実績	-	-
最終処分場の整地借地返還(%)	%	100	目標	0	-
			実績	100	-
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体を実施する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

最終処分場(天竜不燃物処理センター)の整地借地返還は達成できたが、今後ごみ処理施設を解体整地し跡地利用を進めていく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	旧ごみ処理施設管理事業					42,468	35,468	1.0				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						42,468	35,468	1.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

休止及び廃止した旧焼却・旧埋立処理施設を適正に維持管理する。

◇事業の概要

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体を実施する。
 (天竜塵芥処理場・天竜清掃センター・はるのやまびこドーム・はるのクリーンセンター・佐久間塵芥収集センター)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	—	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	10,846	35,468
	決算	10,145	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	10,145	35,468
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		14,000	7,000
人工	正規	2.0	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
ごみ処理施設の解体整地(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	—	—	40	40	40
実績値	—	—			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
最終処分場の整地借地返還(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	0	—	—	—	—
実績値	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 05 01549000

(担当課)
天竜環境事業所

(責任者)
川島 孝司

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

「最終処分場の借地返還」は、目標値「0」に対し、地元地権者との協議が進み、天竜不燃物処理センター(最終処分場)の借地を返還することができた。

「ごみ処理施設の解体整地」は、解体費用等の予算が必要となるため平成29年度以降に順次進めていく予定である。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 一部廃止 / - 事業費 現状 人工 現状

最終処分場の埋立終了に伴い、地元地権者と協議した結果、天竜不燃物処理センターの借地を返還することができた。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 一部廃止 / - 事業費 拡大 人工 拡大

天竜ごみ処理工場・水窪・佐久間クリーンセンターを除く旧施設については解体を進める。

・事業の分類

大分類 維持管理運営

細分類 施設管理運営(建物)

行財政改革の取り組み (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇取組概要

旧ごみ処理施設(2施設)において、施設の解体撤去を行い、借地の解消を通じた市の財政負担の軽減と市有地の有効活用を図る。【施設状況】天竜清掃センター:H28解体(以降、市有地の有効活用を目指す)、天竜不燃物処理センター:借地返還の推進(H23解体済)

◇行財政改革の視点 3 ファシリティマネジメントの推進

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

- 行政経営計画 取組番号 _____
 取組事項名 _____
- 個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	借地面積(ha)	計画値	2.8	2.8	1.5	1.5	(H30) 1.5
		実績値	2.8				
2	施設の解体撤去(箇所) ※最終値は4年間の累計	計画値	0	1	0	0	1
		実績値	0				
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)							

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶
 最終処分場の埋立終了に伴い、地元地権者と協議した結果、天竜不燃物処理センターの借地を返還することができた。

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 下水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	28,413	28,939
決算	28,398	
人件費(A)	700	700
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	29,098	29,639

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

○下水道事業会計負担金
 職員人件費など28,398千円を一般会計で負担した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	下水道事業会計負担金					29,639	28,939	0.1				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						29,639	28,939	0.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 下水道事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇事業の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
—	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	28,413	28,939
	決算	28,398	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	28,398	28,939
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		700	700
人工	正規	0.1	0.1
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
04 01 04 06 01505000

(担当課)
ごみ減量推進課

(責任者)
石田 義和

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を拡充するため、職員の増員を図り、その職員人件費等を一般会計で負担した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

現状維持を図っていく。

・事業の分類

大分類

細分類